

さいたま市議会議員（北区選出）

かわさきてるまさ

川崎照正

さいたま自民党
(さいたま市議会
自由民主党議員団)

市政レポート 令和2年12月号



令和2年9月定例会 川崎照正 一般質問特集

皆様こんにちは。さいたま市議会議員北区選出の川崎照正でございます。まずはじめに、新型コロナウイルスでお亡くなりになりました方々にお悔やみを申し上げますと共に、罹患された方々、被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げます。引き続き、一日でも早く終息することを心より願っております。

さて、今回の市政レポートでは、さいたま市議会令和2年9月定例会において、私が一般質問に登壇した内容を中心にダイジェストとしてご報告致します。「SDGs(エスディージーズ)に関する教育の取り組みや、水道事業における危機対応、未来に向けた盆栽振興、JR川越線複線化、一級河川鴨川付近で市が管理する施設の整備状況、そして、公共施設マネジメ

ント計画について質問致しました。さいたま市政において重要な事柄ですので、ぜひ皆様にご一読をいただければ幸いです。



質問① 「SDGs(エスディージーズ)」に関する教育の取組について

「SDGs」とは？

「持続可能な開発目標」のことで、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。日本としても政府を中心に積極的に取り組んでいます。



●川崎照正 質問：さいたま市は、令和元年7月に県内初のSDGs未来都市に選定されました。これを受けて「さいたま市SDGs未来都市計画」が策定され、社会課題の解決と、持続可能な地域づくりに向けて総合的に取り組む強い決意を示しました。そこで、教育委員会では、SDGsや持続可能な社会を創るための教育について、現状、どのように取り組んでいるか伺います。

●教育長 答弁：教育委員会としては、このようなコロナ禍で地球規模の課題に正面から向き合うことは重要であると考えており「さいたま市SDGs未来都市計画」に基づいて教育の充実に取り組んでいます。

現在、全ての市立学校が実践している教育活動と、SDGsの目標との関連を洗い出しており、将来、子どもたちもSDGsを意識し、社会とつながりながら行動していくことを目指しております。

また、生涯学習においても、人生100年時代やウイズコロナ、ポストコロナと言われる予測不可能な時代において、生涯にわたって自ら学習し、自己の能力や可能性を高めることや、地域や社会の課題解決のための活動につなげていくことが一層重要になると考えており、生涯学習関連施設においては、各館が実施している取組を、SDGsの各目標に関連付けて、写真やイラスト等を盛り込んだ分かりやすく紹介するレポートを広く発信してまいりたいと考えております。